

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名： アプリ児童デイサービス本千葉
自己評価実施職員数： 8人					検討会議実施日： 平成31年2月14日
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	6	0	玩具等で遊べる空間、マットなどで仕切りできる範囲で行っているとのおもう。気分転換の為の個室が必要。 グループ分けをしたり、活動内容を今と変更することで今あるスペースを有効に使う。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	3	2	マンツーマンの子がいると人手が足りなくなる
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	2	耐久化等により、板に段差が出来るようになってしまふことなどがあるが本来の設備的なものは現状で維持できている。身体不自由な児童が少ないため、バリアフリーの必要性を考えていない。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	1	まだ出来ていない状況の為改めて取り組んでいく必要性あり。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	4	0	日々の中の保護者との申し送りも含め、一日の業務に繋げている。 まだ、地域交流や非常時等の対応についての保護者への発信が出来ていない為改善が必要。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	5	2	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	4	0	研修はおこなっているが定期的に行うことが出来ていないため予め予定を組んでおくことが必要。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	日々の療育などで気づいた点などをスタッフ同士で共有し作成しているが、保護者ややり取りの時間を作ることが出来ずあまり保護者のニーズをくみ取ることができていない。 保護者との申し送りの際に少しでも児童について気づいたこと等を話していく意識を持つことが大切。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	7	0	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3	0	チーム力弱く、スタッフ個人に任せきりの為話し合いの場を作ることが必要。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	0	予定をあらかじめ立て月の活動内容のバランスをとっている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	0	外出についてはきめ細やかに計画を立てられているが、急な日程変更(キャンセルが出て外出ができそうな日等)のとききめ細かく計画が立てられない。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	0	まだ、個別活動の方が強い。集団活動について職員で話し合い実行していく必要あり。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	0	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2	3	2	送迎時間が異なる為、翌日に持ち込まれることが多い。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4	0	改善し行えている。
関係機関 や保護者との	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3	0	スタッフ全員で行えていないが出来ている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	0	7	0	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	0	
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	0	あまり利用数が少ない児童とのやり取りが薄いためこちらから積極的に連絡を取っていくことが必要。
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	1	主治医先は確認取れているが直接主治医との連絡は出来てない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	0	行いたい但实际上に行動に移せていない。
関係機関 や保護者との	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	1	直接話し合いの場を計画したりこちらから情報を提供するよう心掛けている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	0	会社本部での提供などで研修が多い方と思う。

連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	4	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2	積極的に参加できていない。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	少しの時間でもあったら日々の様子などについて共有し互いの理解に努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	行っていない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	4	1	契約時のみでそのあとは行えていない機会がない。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	6	0	スタッフ全体で考え助言し支援に繋げている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4	0	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	5	1	ブログを使い月に一度お知らせを行う。 ブログで顔を出せなくなっているため、お便りもしくは季節ごとの写真をまとめて配布してもいいのでは？
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0	保護者とはあらかじめアポイントを取りお互いに情報伝達しやすい状態を作る努力をしている。 障害を持つ児童については視覚、聴覚などの点から工夫し配慮に努めている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	3	将来的にバザー等で地域の方々を施設に招待できるよう頑張りたい。
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	0
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	0	救出の訓練がシュミレーションだけのため実際に訓練をする場を作る。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	毎月、「虐待防止委員会」を設けている。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	0	今現在身体拘束を行っている児童はなし。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	表を作成し職員間で共有し行えている。
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3	0	出来ていないため早急に作成が必要。

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

- ・良い意見が多かった
- ・「また来てほしい事業者ができています」
- ・地域に出る(おやつを買いに行く、地域の催しに参加する)
- ・専門性を求められているが採用は難しい。私たちが勉強し、専門性を身に付けていくしかない。
- ・緊急時のマニュアル、防犯マニュアル、災害時の対応策等を保護者の方々に分かるよう作成し配布する。
- ・避難訓練の様子を定期的にブログにアップし、保護者の方々にアピールする。